

# 新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県）

【第 51 週（2024/12/16～12/22）感染症発生動向調査速報値（2024/12/25 時点）】

定点医療機関※新規患者報告数：**198** 人、定点医療機関当たり **4.21** 人

※インフルエンザ/COVID-19定点（小児科28定点、内科19定点）

図1. COVID-19週別発生動向の推移（全国、富山県）

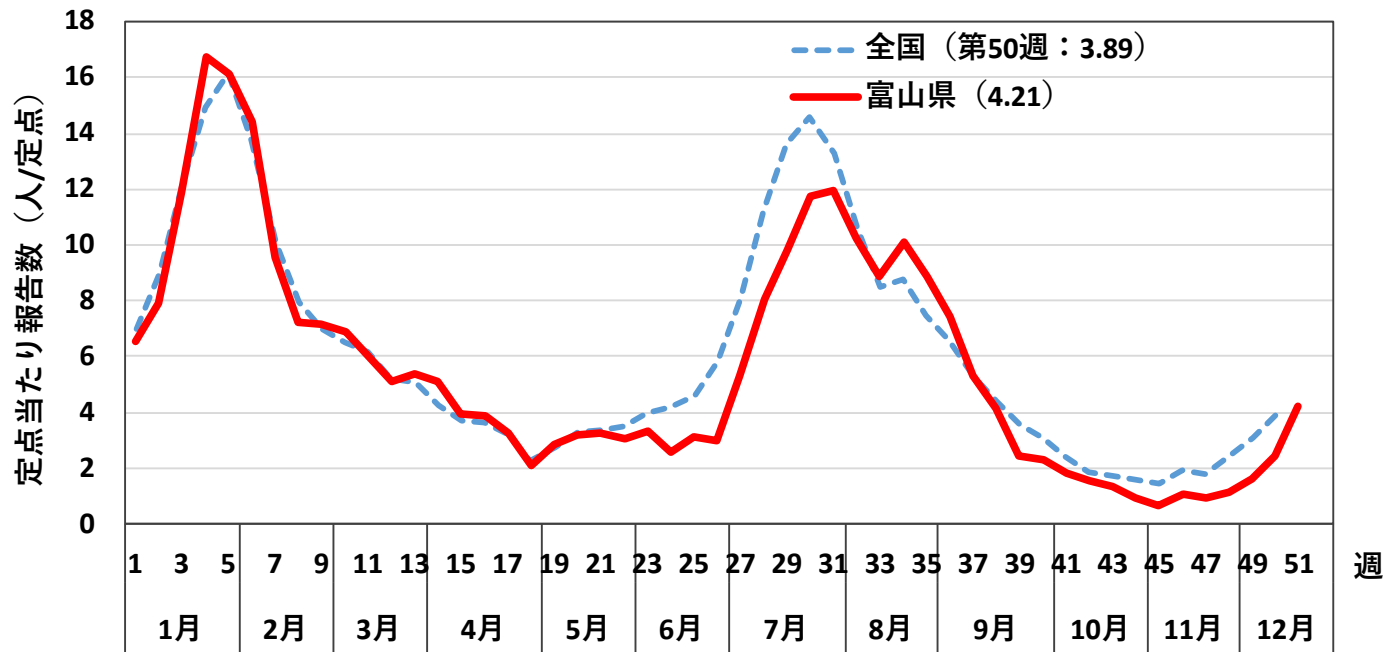
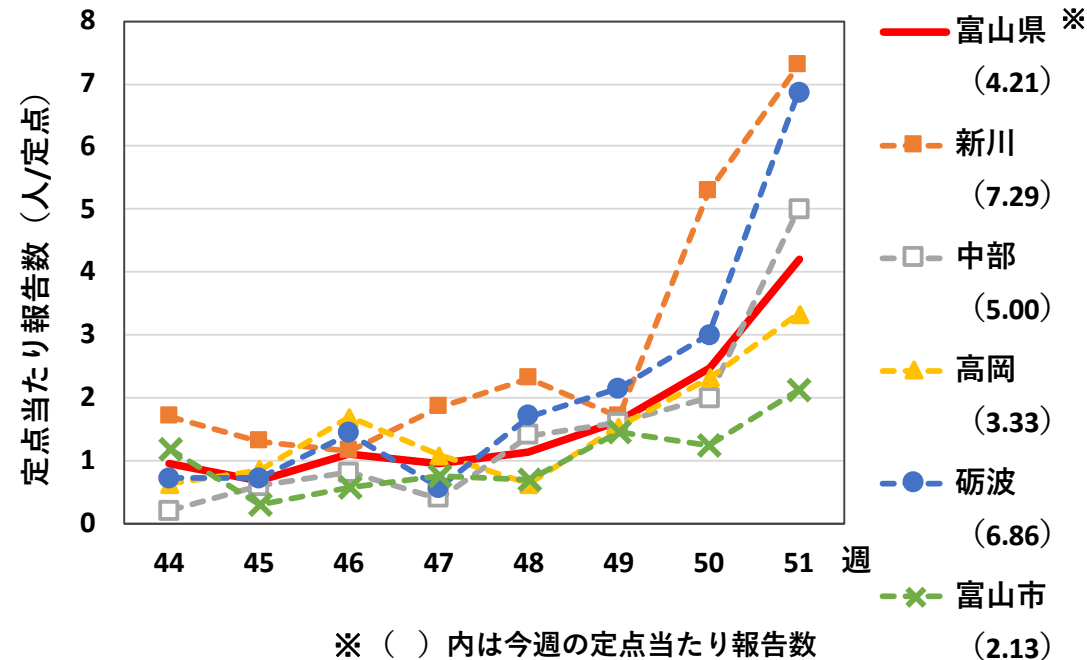


図2. 厚生センター（保健所）管内別発生動向の推移



※（ ）内は今週の定点当たり報告数

- ・ 今週の定点医療機関当たり報告数は4.21人/定点であり、先週（2.46人/定点）から増加した（図1）。
- ・ 厚生センター・保健所管内別にみると、全ての管内で増加した。特に砺波管内で大きく増加した（図2）。

### 図3. 年齢階級別COVID-19報告数の推移（富山県）

図3-1. <20歳

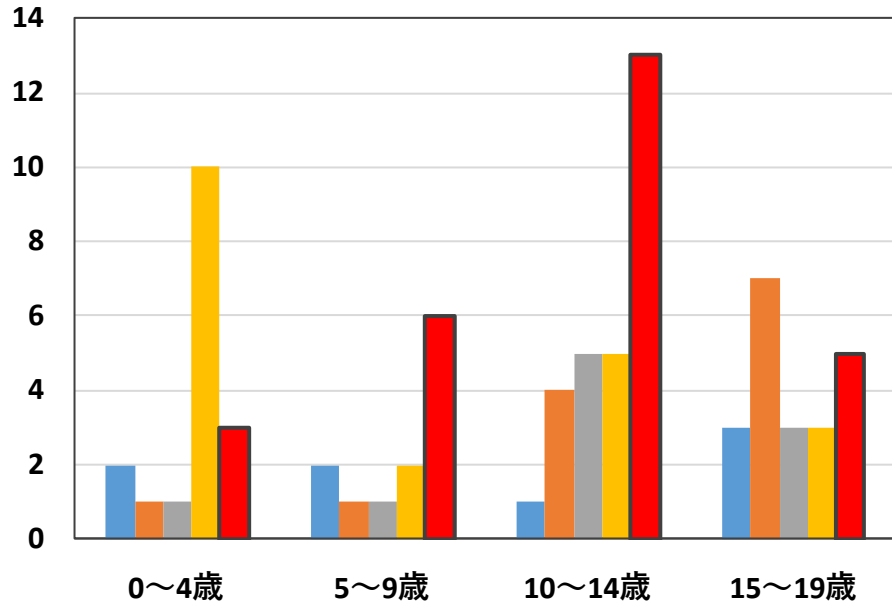
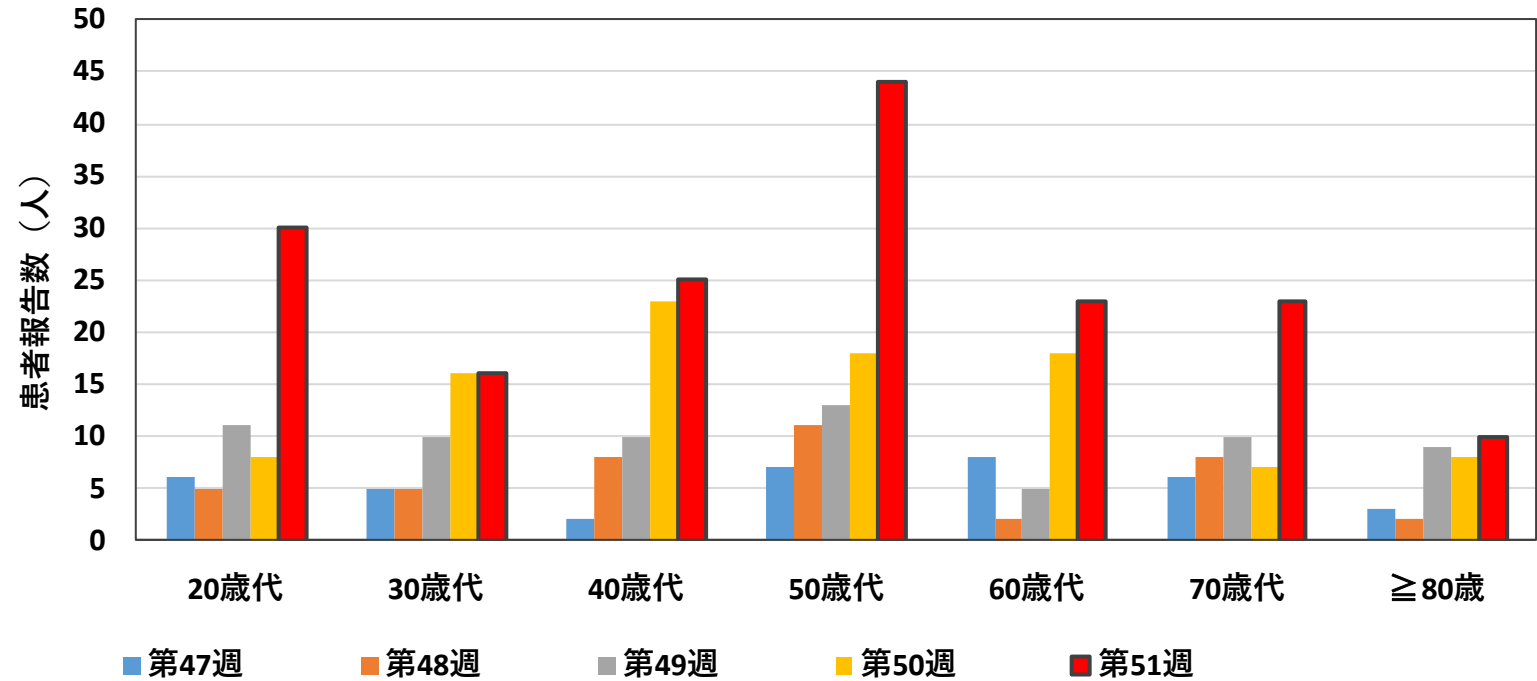


図3-2. ≥20歳



※定点医療機関は小児科が多い（小児科：28定点、内科：19定点）ことから、小児の報告数は成人と比較して過大評価となることに留意する必要がある。

- 5～14歳、20歳代、50歳代、70歳代で増加した。

図4. COVID-19入院サーベイランス  
患者報告数の推移（富山県）

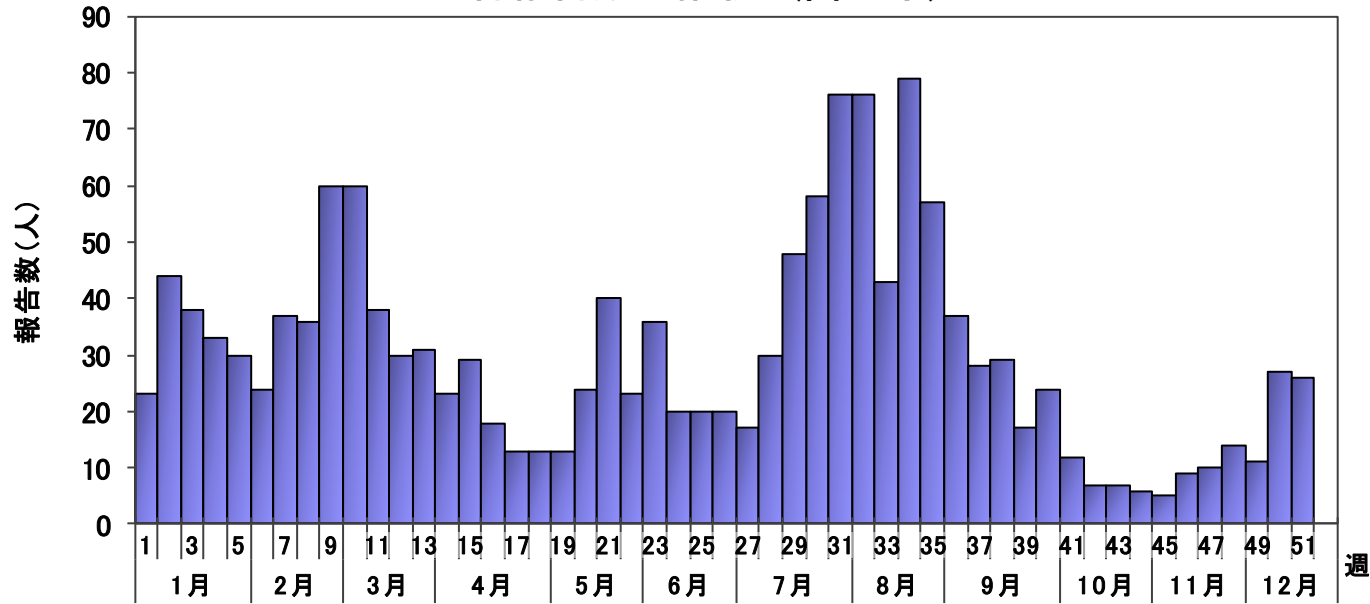
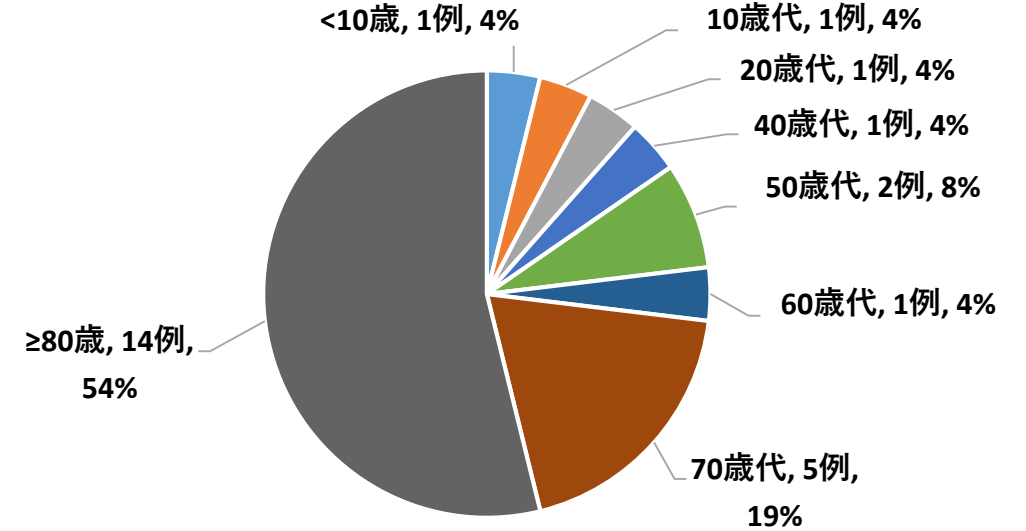


図5. COVID-19入院サーベイランス  
年代分布（第51週、26例）



※割合（%）は四捨五入した整数で表記されるため、合計が100%にならない場合がある。

- ・ 県内5か所の基幹定点医療機関を対象とするCOVID-19入院サーベイランスでは、第51週に26例の入院報告があり、先週（27例）とほぼ同じであった（図4）。
- ・ 患者の年代は、10歳未満・10歳代・20歳代・40歳代・60歳代が各1例、50歳代が2例、70歳代が5例、80歳以上が14例で、70歳以上が73%を占めた（図5）。
- ・ 県内のCOVID-19の患者報告数は、成人層を中心として増加した。また、70歳以上を中心として入院患者数も多い状況が続いているが、若年成人の入院割合も増加した。昨シーズンは冬季にかけて報告数が増加しているため、引き続き今後の感染動向を注視する必要がある。